

ワールドカップでは、日本は残念ながら負けてしまいました。

しか～っし！ 我が社は負けてられませんよ。
ますます暑くなりますが、2006年後半戦、テンション上げて頑張りましょう。

先日の『佐藤富雄』さんの講演会は、いかがだったでしょうか？
とても良かったでしょう。いい話、聞けたよね。私の話よりはるかに説得力があったんではないでしょうか？ 聞いた人はもうすでに実行されてるのではないかな。
そうです。主語はないんだから、今すぐ声に出して言いましょ！

あの後、例年通り、片桐さんと佐藤富雄さんを囲んでの二次会に出席してきました。
講演会とはまた一味違った話も聞けてよかったです。うちのなんか、いきなり隣に座って個人的にいろいろ話し込んでましたね。私は意外とかめっこで、初対面の方とは、なかなか打ち解けて話しができないんです...グスン。

まあ、それはさておき、片桐さんと飲むのはいいんだけど、ひとつ困った事があって、なぜか私をビール党と決め付けてるみたいで、最初から最後まで、生ビールのおかわりを注文してくれるんです。そのタイミングがまた絶妙で、ようやく飲み干そうと思うと、次のおかわりが届く、みたいな、もちろん他の方は白ワインとか赤ワインとか飲んでるんですよ。
うらやましいなあ～と思いつつ、また生ビールかよっ！ みたいな

私とよく飲む方は知ってると思うけど、はっきりいって私はビールが嫌いなんです。最初一杯くらいは飲むけど、5、6杯目になるといい加減キツイです。
そんなん社長の性格なら、スバツと言えるじゃん！って思うでしょ、でもねえ実際、片桐さんは私の事を気遣って下さって、グラスが空にならないよう細やかな気配りでおかわりを手配してくれてる訳だし...、さんざん飲んでていまさら嫌いって、どう伝えればいいのか？

ちなみに片桐さんはビール党なんです。それはそれで自由なんですけどねえ～もちろん。

なんだかんだ言いつつ午前様まで飲んでまして、すでに来年の講師に誰を呼ぼうかって話でチョー盛り上がってしまいました。
そこで候補にあがった講師の先生が、偶然にも同じだったんです。
片桐さんとは、年に数回しか会わないし、仕事上のお付き合いもほとんどないし、そもそも親しくなったのは、ここ数年なのに、なんでいつも考えてる事が一緒なんだろう？
もしやソウルメイト？

たしか片桐さんとお会いしたのは、昨年のクリスマス会以来だし、その時全く話題に出なかった人が、この半年の間に同じ人を来年の講師に呼びたいと思ってたなんて...ホントに偶然なんだろうか？ しかも去年の今頃も、五日市さんの小冊子の件で、お互いがなんで知ってんのって... もはや偶然という言葉では片付けられない何かがあるよね。つまり、半年の間に、きっとこの講師を片桐さんは知らないだろうから、今度会ったら教えてあげようと思ってたら、片桐さんも全く同じことを考えていたと。

実はその呼びたい人ってのが、なんと『てんつくマン』なんです。

まさか、片桐さんが知ってるとは...

この前のビデオ鑑賞会を見た人はわかりますよね、『てんつくマン』を。

ビデオ鑑賞会も講演会にも出てない人には、ここまでの話、さっぱりわかんないかな？

これからでも遅くないので、頑張っついでついてきて下さい。

実は、今年の5月13日に突然、私は札幌に飛んだんです。

なぜって？

それは、『てんつくマン』に会いたかったから、ただそれだけ。そっそれだけの為にわざわざ札幌に。アホでしょ。しかもトンボ帰りですよ。どアホでしょ。

でもね、めちゃくちゃ感動して、これは家族全員に見せたい！ と思って、翌週、てんつくマンの映画と、てんつくマンに会いに家族全員で、山形市まで行ってきました。

すごいアホでしょ、この行動力！

でも私の、この熱い思いわかるよね。この思いを片桐さんにぶついたら、なんと同じものが返ってきたんですよ。超ビックリ！ そりゃあ午前様まで語り明かすわな。

いつも思うけど、一番熱く生きてるのは、俺と片桐さんだなぁ～やっぱ！

話変わります。

何のために、人は生きているのか？

まあ正確には、『生かされてる』なんだけども。

人は決して、世のため人のために生きてる、訳ではありません。

なぁ～んて言うと、また社長が変なこと言い出した、と思うでしょ。

まあまあテキトーに聞き流して下さい。

その前になんで生まれてきたか？ そりゃあ親が勝手に生んだから。そう思ってません？

それは、残念ながら間違いです。

真実を聞きたいですか？ 絶対、笑わないでね。

ジャジャーン！

実は、あなたが親を選んだんです。 ほ～らバカにしたでしょう。

まあいい、どう思われたって、事実だからしょうがない。

言っときますけど、あらたな宗教とかの勧誘じゃないですよ、もちろん。

これは、世界の医学学会でも今や常識として扱われていることです。

だから私がテキトーな事、言ってる訳じゃなくて、世界中のお医者さんが言ってるんです。

つまり、人には前世があって、人は何度も生まれ変わってきてるってこと。

ということは、また生まれ変わるときに自分で親を選べるってことですよ。

だ・か・ら、私が言ってるんじゃないくて、世界中の医者だからね。

ドン引きなので、とりあえず、この辺にしときましようか。

なぜ、生まれ変わるのか、なぜ、親を選んで生まれてくる必要があるのか、死んだらいたいどうなるのか？

その答えは知っておりますが、長くなるので、また今度。

最後に『人生』を山に例えてみましょう。

人によって、登る山が違ってるの。

高い山、低い山、なだらかな山、険しい山、いろんな山があるよね。

そして、美しい花に覆われた山もあれば、密林の茂る山もあるでしょう。

岩や断崖もあれば、ときに絶壁をよじ登ることもあるでしょう。

小川や滝もあれば、木の実や果物、山菜に恵まれることだってある。

ようするに、どのような登り方をするのも、すべてその人の自由なんです。

大回りしながら山頂を目指すのもよし、一直線に駆け上がるのもよし、わき目もふらずに走り続けるのもよし、いかなる登り方をしようとも、それは自由だー。(登る is freedom?)

どのような山であっても、登るべき山、送るべき人生に間違いなどありません。

他の人が登る山をみて、あの人はなだらかな山でいいなあとか、花が咲いてたり、木の実が豊富でうらやましいなあとすることもあって良いでしょう。自分の山はなんでこんなに急で登りづらいんだろうとか、密林過ぎて全然太陽が差し込まないじゃん、なんて思ったり。

でもそれは全て他人との比較で生きてるからなんです。

他の人が登る山など目もくれずに、自分が登るべき山を、自分なりの方法で登ればいい。

この山を選んだのも自分自身だということに、いずれ気付くでしょうから。

今、自分に与えられている人生の試練は、生まれる前に全て自分が決めた事。

信じる信じないは自由なんだけど、これだけは覚えておいてほしい。

なぜ、自分は生きているのかを考える時、意味があって生かされているという事を。

私にも今ようやく、わかった事があります。でもそれがどういうことなのか、もっと知り

たい方には、詳しくご説明いたしますよ。
あっ、もうひとつ忘れてた。

今月よりハッピーボックスを設置いたしました。

これは、ある社員さんの提案によるものです。私も大賛成の案件で即採用しました。

では、どんな時にハッピーカードを書けばいいのか？

なんでもいいの。例えば、自分がトイレ掃除の当番だったときに、うっかり忘れちゃって他の人が気が付いてやっておいてくれた時とか。って、これは私のことだな、「いつもありがとう、石田さん。」 決して、ワザと忘れてるわけではありませんよ。

とまあ、こんな風に、ありがとうが言えればいいの。かんたんですよ。

一通につき、書いた人に 500 円、もらった人に 500 円だよ。今月はキャンペーンにつき、三通まで 500 円だから、三通書けば 1500 円、さらに三通もらえば合わせて 3000 円。

もちろんそれ以上書いてもいいよ。ただし四通目からは 200 円になります。

これは、掲示板に掲載させていただきますが、さらにその中から、これは！と思うものには、月間優秀賞として、5000 円が両方に支払われます。

いかがです、ヘタなパチンコより儲かりますよね。

このハッピーカードの目的は、社員同士が、普段なかなか言えないような小さなことでも感謝の気持ちを伝えられる、その感謝の気持ちを受け取れること。みんなが感謝し合えたら、とてもすばらしい会社だし、会社全体が、感謝の輪に包まれたら、感謝のオーラがお客様にも伝わると思う。そのうち、お客様に、このハッピーカードが飛び火してもいいんじゃない。

お客様へハッピーカード出したら、どうなるだろう。間違いなく喜ばれるよね。

もしかしたら、今度はお客様からハッピーカードがもらえるかも知れません。

この時ほど仕事に、やりがい、生きがいを感じることはないと思います。

私だって、社長通信楽しみにしてますって言われるだけで、めちゃめちゃやりがい感じるんですから。(同時にプレッシャーも感じますが...)

ぜひぜひ書いてみましょう。

もらったときは、めっちゃうれしいと思いますよ、幸せですよ。

まさに、ハッピーカード！

平成 18 年 7 月吉日

株式会社 杉原建築設計事務所
代表取締役 杉原 吉朝